

2025 年度 工学院大学学科連合委員会 総括

工学院大学学科連合委員会



委員長 倉田 直樹



1. 組織構成

工学院大学学科連合委員会は新宿キャンパスに新宿本部、八王子キャンパスに八王子支部を置いて活動を行った。今年度は会計局、企画局、渉内局、渉外局、広報局、資材局、オリター・アンケート局の7つの局に各委員を配属して活動を行った。

2. 方針

工学院大学学科連合委員会は下記の目的を達成するため、本部と支部の枠に捉われず、各委員の意見を尊重し合い、活動を実施した。

3. 目的

工学院大学学科連合委員会は各学科の学生からの要望を集め、各団体や本学に反映させ、本会の企画や活動を通して学生間の交流を促した。そして、知識・見聞を深めさせることで本学学生の学生生活を改善することを目的とし、活動を行った。また、学園の広報並びに本学の発展に寄与することも目的とした。

4. 活動内容

A) アンケート活動

アンケート活動は本学学生の要望を集めるものであり、本会の目的を達成するために実施すべき活動である。各企画では、昨年度に実施されたアンケートの結果をもとに、企画内容や景品の改善を図った。八王子、新宿の両キャンパスで本学学生、学園祭では来場者を対象とした多種多様なアンケートを必要に応じて実施した。各企画では実施前に事前・直前アンケートを、実施後に事後アンケートを実施した。事前アンケートは、各企画の準備段階で本学学生の需要を調査するために行い、要望を反映できるような質問を設けた。直前アンケートでは、各企画の参加者の情報を集め、各企画がより円滑に運営できるような質問を設けた。事後アンケートは、各企画の意見や改善点を収集するために行い、各企画の満足度や委員の対応などに関する質問を設けた。

B) 前期企画

学生間の交流を促し、今後の学生生活の改善と向上を目的として実施した。八王子キャンパスにて掲示板を用いた企画を実施し、本学学生が持つ不安や悩みを吐き出せる場、そして普段関わることの少ない他学年との交流ができる場を提供した。

C) 後期企画

学部学科間での交流を目的とし、今年度は八王子キャンパスの食堂を使用してビンゴ企画を実施した。企画中にゲームを取り入れることで参加者同士の交流を促した。また、企画にはロボットと郵便局というテーマを設定した。テーマに沿った装飾、演出、衣装を施すことで食堂にてひとつの世界観を表現し、参加者全員が楽しめる企画を作り上げた。

D) 学園祭への参加

アレ八王子祭、八王子祭、新宿祭に参加した。ステージ企画、模擬店に参加し、学園祭に協力することで盛り上げた。また、来場者に対してアンケートを実施し、学園祭の満足度と改善点を集計し、次年度以降の学園祭の発展に寄与した。

E) 大抽選会

新宿祭にて実施した。来場者にアンケートを回答していただき、抽選にて協賛品や景品を用意し期待感を高めた。アンケートの内容として新宿祭の各コンソンの満足度や、次年度以降につながる設問を用意した。より多くの来場者に回答していただくため対面形式ではなく、Web上で実施可能なものにした。得られたアンケート結果は本会だけではなく他団体に共有することで、学園祭の発展に寄与した。

F) 他大学との交流

本会の渉外局を主体として、今年度も新宿本部、八王子支部の両方で他大学との交流を実施した。他大学と交流を通して新たな知識、価値観を吸収し、本会の活動向上につなげた。具体的な活動として、他大学合同主催交流会へ参加し、他大学との交流や意見交換をする場を設けた。また、他大学の学園祭視察を実施することで、本学にない他大学特有のものを習得し、本学・本団体の活動への反映を図った。